

## 人の思いや願い、生き方に触れる子供たち

5月22日、3年生の子供たちは、社会科で学校の周りの様子を調べるために見学に出かけました。カネツル砂子商店さんでは、ホタルイカの加工等についてお話を聞きました。繁忙期だと思いますが、寺家小に限らず市内小学校の見学を受け入れておられます。お話の中で「子供たちの見学は従業員の喜びになる」「子供からの思いがけない質問が励みになる」「地元の子供たちへの教育が必要だと最近思うようになった」など、その思いを語られました。そして、ゆでたての新鮮なホタルイカをおいしく味わうこともできて、ふるさと滑川の特産を身近に感じる事ができたひと時だったと思います。

6月1日、5年生対象にカタレ富山“夢教室”が行われました。カタレ富山のフワードには、寺家小学校から松岡大智選手を輩出しています。そのこともあって、今回の講師 椎名伸志(しいな のぶゆき)選手の話をお子たちは興味深く聞いていました。椎名選手は、前十字靭帯断裂というけがを4回もしました。4回目の断裂の時は、「自分の選手生命は終わった」と思ったそうです。それは、当時4回のけがから復帰した選手はいなかったからです。でも、ある方から「お前が復帰したら、けがをしたどの選手にも勝ったことになる。復帰はお前にしかできないよ」と言われた言葉が、今も現役選手を続ける心の支えになっているとのことでした。子供たちは、椎名選手の生き方に触れ、自分の夢について考えるよい機会となりました。

6月14日、お祭り530(ゴミゼロ)運動として、5・6年生は手作りのごみ箱を櫛原神社境内の中に設置しました。今年は、多くのお店が出店して祭りのにぎわいが戻ってきました。祭りが終わった6月17日

は土曜日でしたが、有志の子供たちと保護者等が集まってごみ箱の片付けをしました。時折降った雨のため、ごみ箱の底に雨水がたまっていて処理に手間がかかりましたが、積極的にごみの片付けや分別を行いました。終わりには、神社総代の方からねぎらいの言葉をかけていただき、子供たちのやり切った満足げな表情が印象的でした。本校は、令和3年10月、530運動に長年取り組んだ功績を讃えられて「環境とやま県民会議会長表彰」を受けました。しかし、新型コロナウイルス感染症のために一旦途絶えていた530運動でしたが、伝統を立派に引き継いだ子供たちがとても頼もしく見えました。

新年度になってから、各教科等において、いろいろな施設やそこに関わる方々に大変お世話になり、ありがとうございました。本物に触れ、五感と心を働かせて学ぶ学習を今後も展開しますので、よろしく願います。

(校長 広田 積芳)



【砂子商店さんでの見学】



【夢教室 椎名選手】



【530運動での活動】